

テーマ ものづくり

組合員の既存技術を活かしオリジナル製品の開発に取り組む

東日本プラスチック製品加工協同組合

組合青年部のメンバーが中心となって、災害時に適した折りたたみ式の貯水タンクを商品化。災害時に役立つ防災用品として高い評価を得るとともに、組合員の技術力を内外に示した。

背景と目的

塩化ビニールを始めとしたプラスチック素材の加工業者である組合員は、それぞれ高い技術力を有しているものの、現在はOEM生産が主体となっている。海外の廉価品との競争が激しくなるなかで、OEM発注先からの値下げ要請が続くなど、組合員の経営環境は厳しさを増している。組合員は新たな販路の開拓や下請依存の現状を改善することの必要性は認識していたが、単独での取組みには限界があった。こうしたことから組合員の技術を活かしたオリジナル製品を組合で共同開発し、組合員の技術

力をPRすることでビジネスチャンス創出を図ることとなった。

事業・活動の内容

オリジナル製品の開発に当たっては、青年部のメンバーが中心となって取り組んだ。「防水性の高い塩ビシートの特性を活かし、既存技術を活用することで開発コストを抑えつつ、組合員の技術力をPRできる今までのない製品」をコンセプトとして、製品開発に取り組んだ結果、折りたたみ式の貯水タンクの商品化に成功した。なお、事業計画の策定に際しては東京都中央会のグループ戦略策定支援特別対策事業、試作品開発については東京都立産業技術研究センターのオーダー開発支援事業をそれぞれ利用した。

活動の成果

「貯タンくん」と命名した貯水

タンクは、購入した自治会組織等への売込みに成功したほか、東日本震災以降、様々な方面より引き合いを得ている。また、日本ビニル工業会が開催する「塩ビものづくりコンテスト」において優秀賞を受賞し、業界からも高い評価を得た。

今回の共同開発の成功により、組合員の持つ加工技術がアイデア次第で更なる発展性を秘めていることを内外に示すこととなり、今後の製品開発の取組みにも弾みがついたといえる。

さらには、組合青年部という次世代の組合員が主体となつて一つの目標に向かって協力し、成功を収めたことは、自信とモチベーションの向上に繋がっただけでなく、組合への帰属意識も高め、将来において組合をリードする人材を育てる結果となったことも大きな成果となっている。



▲ (貯タンくん) 持ち運び時



▲ (貯タンくん) 使用時

東日本プラスチック製品加工協同組合

住所：〒103-0004
東京都中央区東日本橋2-24-7
設立：昭和27年6月
出資金：3,390千円
電話：03-3861-6544
URL：http://www.toupla.jp/
業種：プラスチック製品加工業
会員：24人
組合専従者：1人（うち専従理事1人）